

- 問1 日本の都道府県別の就業者構成を分析した際、東京都や大阪府などの都市部で特に高い割合を示す産業区分があります。卸売業や小売業、医療・福祉、情報通信業に従事する人々が含まれるこの産業区分の特徴について、正しい説明を選びなさい。（2018年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 物資の輸送、情報の提供、商品販売などのサービスを提供する産業 | 2. 地下資源を採掘し、エネルギーを供給することで産業全体を支える産業 | 3. 原材料を加工して機械や建物を造り出し、物質的な豊かさを生む産業 | 4. 自然に働きかけて資源や作物を採取し、生活の基礎を支える産業 |
|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
- 問2 日本の貿易において、航空機を利用した輸出が積極的に行われている品目の特徴とその代表的な製品の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。（2018年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------|-------------------------|---------------------|------------------------------|
| 1. 大型で重量があり高価な製品 — 自動車 | 2. 保存が利き大量輸送が必要な食料 — 小麦 | 3. 重量があり安価な資源 — 鉄鉱石 | 4. 小型で軽量かつ高価な製品 — 半導体などの電子部品 |
|------------------------|-------------------------|---------------------|------------------------------|
- 問3 ある県における市町村立図書館の蔵書数が最も多い市で約67.6万冊、最も少ない町で約1.1万冊と大きな差があります。また、県立図書館の図書貸出の地区別比率を見ると、県立図書館が位置する市が93.8%を占めるのに対し、離れた県南地区は0.4%にとどまっています。これらの状況から分析できる、県立図書館が果たすべき役割に関する記述として最も適切なものはどれですか。（2023年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 各図書館における分類別図書貸出冊数の違いを分析し、貸出数の多い分野の図書のみを集中的に整備すること。 | 2. 県立図書館が所在する市の住民の利用割合が非常に高いため、その地区の住民に限定したサービスを優先して拡充すること。 | 3. レファレンス件数を増やすことを目的として、蔵書数の少ない市町村立図書館を廃止し、県立図書館へ集約すること。 | 4. 市町村間の蔵書数の格差や利用者の地域的な偏りを考慮し、小規模自治体や遠方住民の読書環境を確保するための広域的な支援を行うこと。 |
|---|---|--|--|
- 問4 観光客の急増に伴うトラブルを解決するため、ある自治体では景観を維持するための建物の高さやデザインの制限、住民の生活路線を守るための「観光急行バス」の新設などの対策を行っています。これらの施策が目指している姿として、最も適切なものはどれですか。（2025年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 観光客と地域住民の生活環境を両立させた「共生」の実現 | 2. 過疎化を解消するために、観光客を定住者として増やすこと | 3. 規制を緩和することで、観光客向けの巨大な宿泊施設を増設すること | 4. エコツーリズムの考えに基づき、観光客の立ち入りを全面的に禁止すること |
|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
- 問5 北海道にある世界自然遺産の知床半島では、貴重な植生を観光客が踏みつけないよう、地面から約二メートルの高さに「高架木道」が整備されています。このように、地域の自然環境を損なうことなく、その魅力を学びながら観光振興と環境保全を両立させる取り組みを何とといいますか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|------------|--------------|-----------|
| 1. エコツーリズム | 2. フェアトレード | 3. グリーンツーリズム | 4. バリアフリー |
|------------|------------|--------------|-----------|
- 問6 グローバル化に伴う物流の変化において、航空輸送が主に担っている役割と、その輸送に最も適した品目の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|------------------------------------|--|
| 1. 「重量が大きく、製品単価が比較的安い」という特徴を持つ鉄鉱石を運ぶ役割 | 2. 「小型・軽量で高付加価値」という特徴を持つ集積回路（IC）を運ぶ役割 | 3. 「液体で一度に大量の輸送が必要」という特徴を持つ原油を運ぶ役割 | 4. 「形状が大きく、専用の運搬船で大量に運ぶ」という特徴を持つ自動車を運ぶ役割 |
|--|---------------------------------------|------------------------------------|--|
- 問7 ある工業地域の港湾における輸入品目の内訳をみると、石油が約59%、液化ガスが約22%と、エネルギー資源や原料が大部分を占めています。このような輸入の傾向と密接に関わっている、この工業地域で最も盛んな工業の種類を次の中から選びなさい。（2017年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 機械工業 | 2. 金属工業 | 3. 化学工業 | 4. 繊維工業 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 近年、多くの地方自治体が住宅補助や就業の紹介といった「移住支援」を積極的に行之い、都市部から地方への「Iターン現象」を促進しようとしています。自治体がこのような施策に取り組む、社会的な背景や目的として最も適切なものはどれですか。（2023年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 東京などの大都市の人口密度をさらに高め、経済活動の効率化を全国規模で進めるため | 2. 都市部における待機児童問題を解決するために、子育て世帯を強制的に地方へ分散させるため | 3. 地方に残る伝統的な産業をすべて廃止し、都市型の新しいサービス業に一本化させるため | 4. 若年層などの流入を促すことで、過疎化や高齢化が進む地域の地方活性化につなげるため |
|--|---|---|---|
- 問9 日本の工業地帯・地域の統計において、工業出荷額が最も多い中京工業地帯の産業構造について、適切な背景を説明しているものはどれですか。（2022年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. かつての重化学工業から知識集約型産業への転換に成功し、現在はソフトウェア開発などの第3次産業が工業出荷額の大半を占める。 | 2. 東京都から神奈川県に広がる京浜工業地帯と同様に、印刷・出版業と機械工業が二大産業として発展している。 | 3. 古くからせんい工業が盛んであったが、現在は阪神工業地帯を抜いて化学工業の出荷額が日本一となっている。 | 4. 自動車に関連する部品や本体の製造を行う機械工業が中心であり、それに付随する金属工業などの関連産業も集まっている。 |
|---|---|---|---|
- 問10 ドイツやイギリスなどの国々において、2010年から2018年にかけて風力発電や太陽光発電の割合が上昇している主な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------|--|--|---|
| 1. 温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化を防止するため。 | 2. 化石燃料の価格が急落したことで、あえて新しいエネルギーを開発する必要がなくなったため。 | 3. 降水量の減少により、主要な電力源であった水力発電が利用できなくなったため。 | 4. 世界的な人口減少に伴い、小規模な発電設備だけで電力がまかなえるようになったため。 |
|--------------------------------|--|--|---|
- 問11 日本の太平洋沖合では、南からの暖かい海流と北からの冷たい海流がぶつかり合う「潮目（潮境）」が形成されます。この海域が、世界有数の良好な漁場となる理由として最も適切な説明を選びなさい。（2021年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 暖流が深層の栄養分を海面に運び上げることで、大型の回遊魚が常に一定の場所に留まる性質を持つため | 2. 一年を通じて水温が一定に保たれるため、季節による魚の移動がなく安定した漁獲が可能になるため | 3. 水深200mまでの浅い海底が続くことで太陽光が届きやすく、魚の産卵に適した環境が整っているため | 4. 寒流と暖流が混ざり合うことでプランクトンが発生しやすくなり、それらを餌とする両海流の魚が集まるため |
|--|--|--|--|
- 問12 日本国内の発電所数を比較すると、火力発電所が全国に数十か所程度であるのに対し、太陽光発電所は全国に数千か所以上設置されています。このように、太陽光発電が全国各地に極めて多く設置されている理由として適切なものはどれですか。（2019年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 天候や季節に関わらず一定の電力を供給できるため、どのような地域でも安定した運用が可能のため | 2. 大規模な設備を必要とする火力発電に比べて建設が容易であり、小規模な土地でも設置可能なため | 3. 発電コストにおいて、火力発電よりも燃料費や維持管理費が高くなるように設定されているため | 4. 一箇所あたりの総発電量が火力発電よりも大きく、効率的に全国の電力を賄うことができるため |
|--|---|--|--|